

電通大100周年キャンパス 整備・運営事業

小島町地区再開発計画

平成25年4月15日

経営方針

改革課題

- ①社会や学生の**多様なニーズ**への対応
- ②**教育力**のさらなる強化
- ③大学の**コア・コンピタンス**の明確化
- ④本学の**社会的存在意義**の強化
- ⑤職員の**意識改革**の促進

経営戦略

- (1) **知のボーダレス化**
- (2) **連携と協働**
- (3) **開放と透明化**

UECビジョン2018

～100周年に向けた挑戦～

1. 「**総合コミュニケーション科学**」に関する教育研究の**世界的拠点**をめざします。
2. **国際標準を満たす基礎学力**の上に、国際性と倫理観を備え、**実践力に富む人材**を育てます。
3. 世界から学生や**若手研究者が集い**、伸び伸びと研究し、そこから**ユニークな発想**が生まれる環境を整えます。
4. 国内外の大学や産業界および地域・市民などとの**多様な連携と協働**により、教育研究の質を高め、社会に貢献します。
5. **経営の開放性と透明性**を高め、学生や職員相互の信頼と士気が高く、**社会に信頼される大学**をめざします。

機能強化改革計画

本学の個性・特色の明確化

総合コミュニケーション科学(電通大発)の教育研究
の世界的拠点を目指す！

- 新構想の大学院研究科の新設
- 脳科学ライフサポート研究センターの新設
- スーパー連携大学院の推進
- 小島町地区再開発による連携拠点建設

なぜ今再開発か？

(1) 小島町地区宿舎の**老朽化**

- 築40年を超え、老朽化が激しい
- 一部は耐震強度的に問題がある

(2) 大学の保有財産(特に土地)の**有効活用が必須**

- 一部大学では、未活用土地等の国庫返還を求められている
- 老朽建物を放置し、活用率が下がれば上記と同じ

(3) 本学の保有土地として唯一のまとまった活用可能土地は 本学の**将来のために有効活用**しなければならない。

- 単なる職員宿舎の建替えだけでは許されない
 - ・公務員宿舎の縮減の流れ ・民間社宅の廃止の流れ
- より一層開かれた教育研究機関としての「UECビジョン2018」の実現に資する施設機能とすること

小島町地区再開発計画(1)

[再開発の目的]

- 教育研究機能と経営力の強化

[再開発のビジョン]

- UEC Port
(Unique & Exciting Campus の港)

[基本方針]

- 1) UEC Port及び経営3戦略の具現化
- 2) 今後50年間の活用を目指す
- 3) 2018年には稼働状態を目指す(100周年
キャンパスとする)

小島町地区再開発計画(2)

[施設機能の考え方]

○居住施設

1) 職員宿舎 (含ゲストハウス)

- * 社会の動向に鑑み、規模設定を行う。
- * 入居条件設定(新規や若手優先、入居期間制限など)

2) 混住型学生宿舎

- * 宿舎生活を教育の一環に組み込むこと。

○産学官連携施設

- * 多様で、フレキシブルな共同研究施設とする。

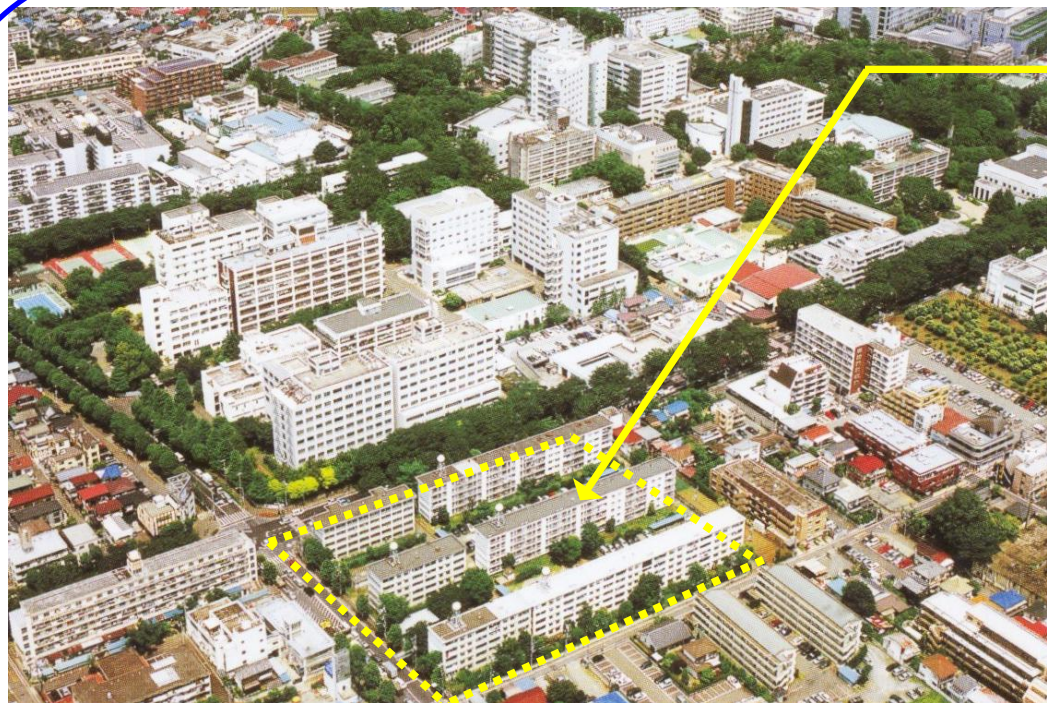
○社会連携・交流施設

- * 学生、同窓生、地域市民、産業界、海外からの多様な人々が常に集う賑やかな場とする。

小島町地区再開発による連携拠点建設

○民間事業者が実施主体となる施設整備の実施

1. 厳しい財政状況の中、多様な財源を活用して“UECビジョン2018”の具現化を図る。



キャンパスの概要

敷地面積	10,982m ²
用途地域	第1種中高層住居専用地域 第1種住居地域 準住居地域
建蔽率	60%
容積率	200%
その他	防火指定 準防火地域 高さ制限 25m

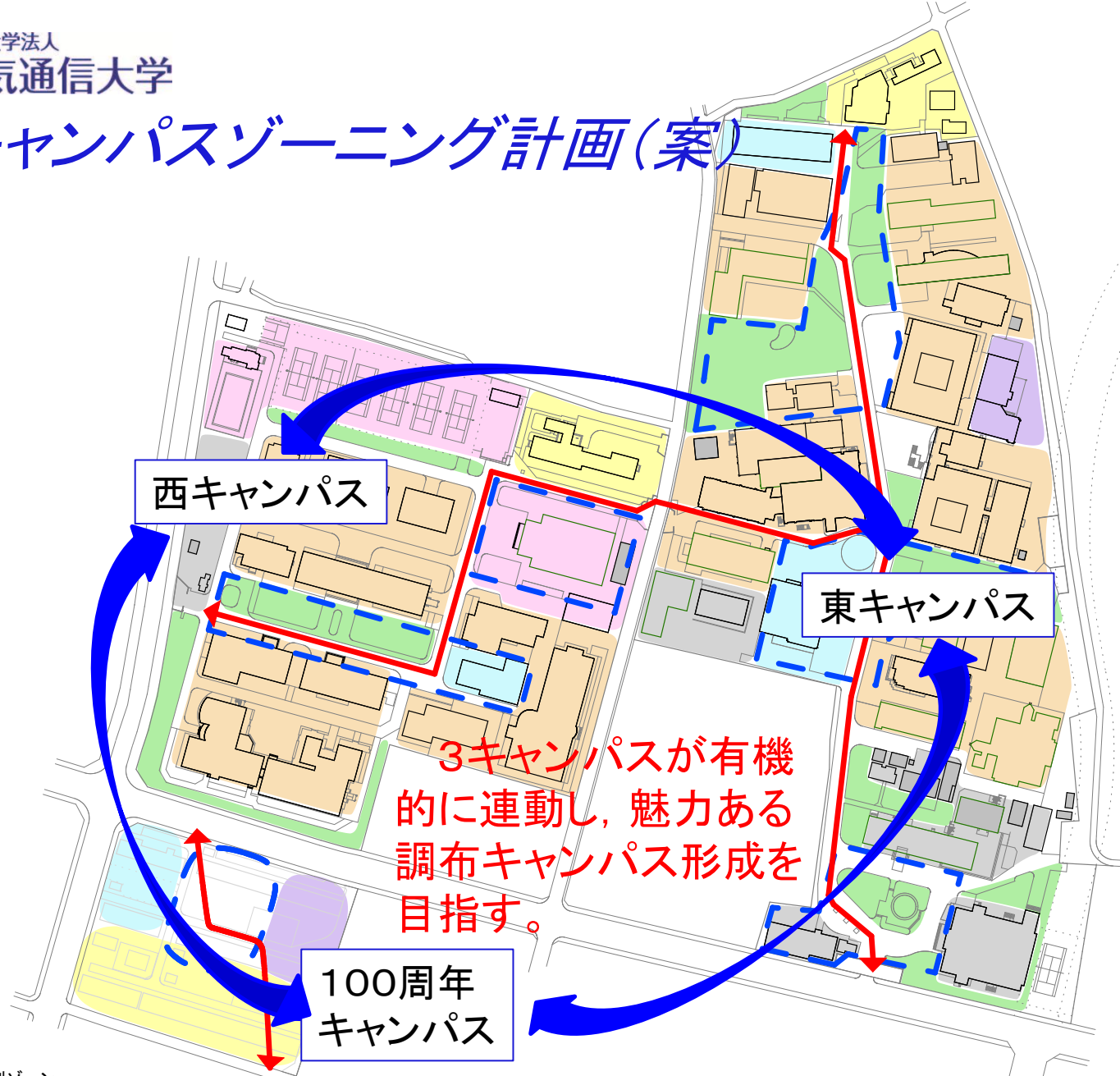
現状用途 職員宿舎・学生寄宿舍
延べ床面積 10,512m²

計画用途 混住型学生宿舎・共同研究施設
職員宿舎・福利厚生施設
交流スペース

2. 今後のスケジュール(参考)

2012年度	学内検討を経て、基本方針決定・事業化決定
2013年度	事業者募集、事業者決定・契約締結
2014～15年度	基本・実施設計を経て解体工事着手(退去および移転開始)
2015～16年度	新築工事着手～完成
2017年度	オープン 管理・運用開始
2018年度	創立100周年

調布キャンパスゾーニング計画(案)



機能別ゾーン

 教育研究ゾーン	 共同研究ゾーン	 管理・共通ゾーン	 居住ゾーン	 福祉厚生ゾーン
 運動施設ゾーン	 緑地ゾーン	 広場・交流ゾーン	 主動線	

新キャンパス施設機能の考え方

居住施設

大学構成員が教育研究に専念できる環境を確保。
女子学生や保護者にとって安心感を与える施設を提供。

共同研究施設

電気通信大学のコアコンピタンスを発揮できる中核的施設。
企業・地域住民への情報発信施設。

本学にとっての 貴重な資産

キャンパスに関わる全ての人々へ
出会いと交流の場を提供。

交流スペース

居住者・施設利用者の利便性向上と
収益施設として安定した賃料収入を確保。

福利施設

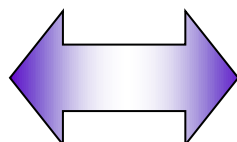
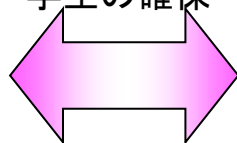
教育研究機能と経営力の強化

小島町地区再開発計画

調布キャンパス



優秀な教職員
・学生の確保



産学官連携
の推進

UEC Port 100周年キャンパス

職員宿舍

ゲストルーム

混住型学生宿舍

居住施設群

交流スペース

共同研究施設

福利施設

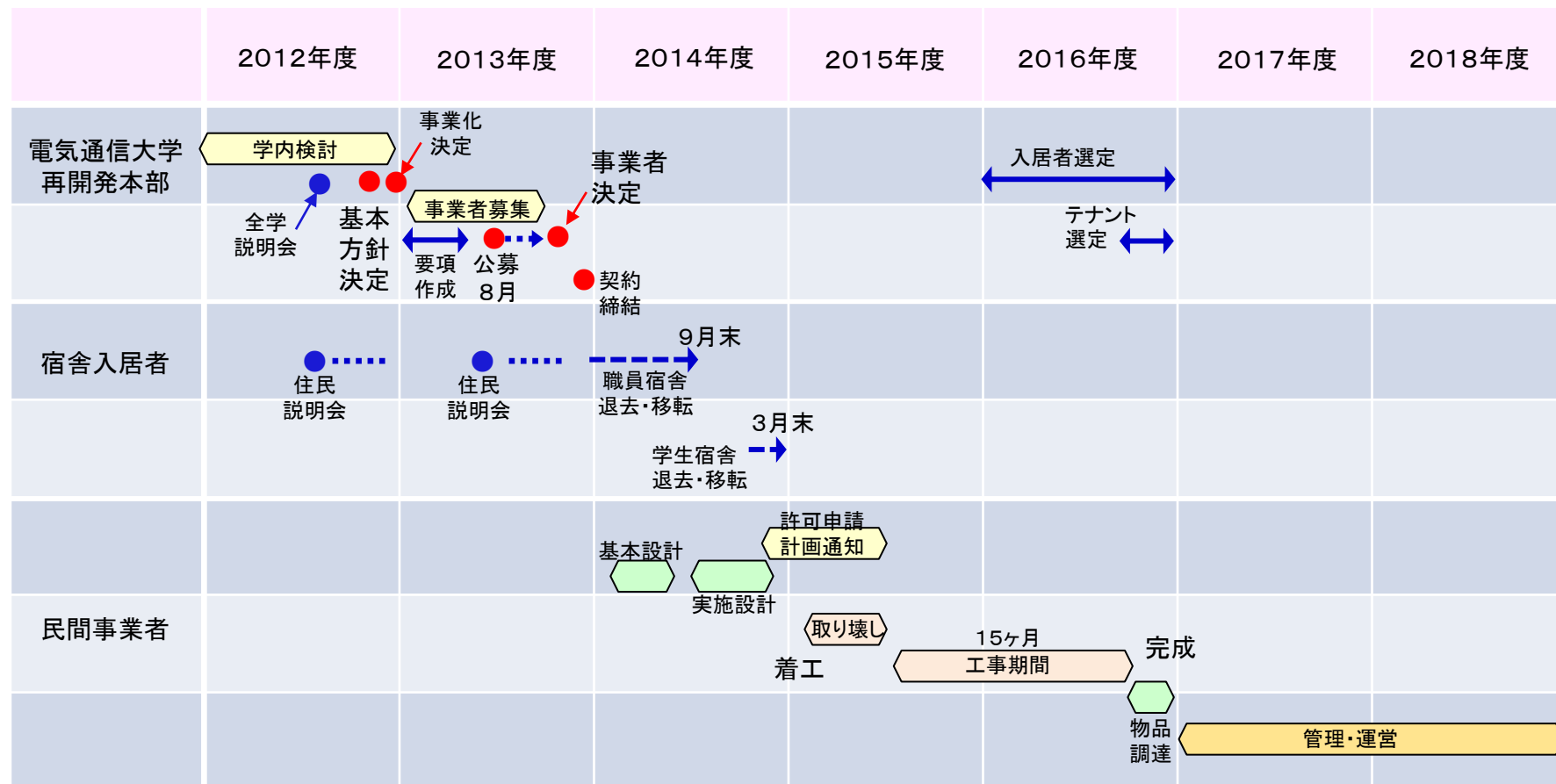
民間企業

調布市

地域住民

機能関連図

小島町地区再開発スケジュール(参考)



このスケジュールは、民間事業者が主体となり、設計・建設、維持管理・運営を行う整備手法を想定。賃料や事業収入により事業費を回収。事業期間は20～30年で計画。

